

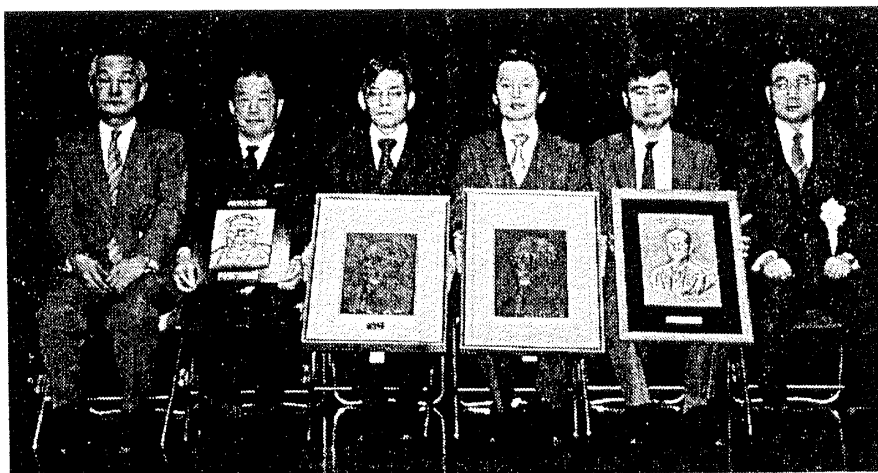
## 会 報

## 昭和59年度 日本醸酵工学会大会

昭和59年度大会は、去る11月18日から20日までの3日間、日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）において開催された。会場は第1会場（講堂）、第2会場（第2教室）、第3会場（第1教室）、第4会場（特別教室）および第5会場（C教室）にわかれて309題の研究発表が行われた。すなわち微生物遺伝・育種、醸造、酵素および酵素工学、廃液処理、生物化学工学、微生物一般、食品工学、醸酵生産および微生物代謝・生理の一般講演と醸造条件と製品の品質および醸酵生産物の分離、精製の各シンポジウムならびに醸酵工業協会石油発酵研究部会と石油発酵講演会、C<sub>1</sub>微生物日本国内委員会とC<sub>1</sub>微生物——新しい研究の展開——および文部省科学研究費補助金「エネルギー特別研究」生物エネルギーの利用と開発班と生物エネルギー「バイオフェューエル関連の微生物を中心として」の各シンポジウムを共催で行なった。また本大会で初めて試みられた English Session—Biotechnology—では、国内

外より9題の講演があり熱心な討論が行なわれた。大会第1日目の5時30分から地階大食堂においてミキサー（会員懇談会）が行なわれた。テーブルには賛助会員の寄贈による清酒、ビール、ワイン、ウイスキー、ジュース、コーラ等の飲物やお菓子、チーズ等のおつまみが盛沢山に並べられ、午後7時までなごやかに懇談した。

大会第2日目は、授賞式および受賞講演が行なわれた。まず田口会長のあいさつの後、駒形授賞選考委員から斎藤賞受賞者の東江昭夫氏について、高橋授賞選考委員から照井賞受賞者の大川輝氏および永井授賞選考委員から矢野卓雄氏について、また田口授賞選考委員から醸酵工学賞の千畑一郎氏についてそれぞれ選考経過および業績について報告があり、受賞者にそれぞれ賞牌、副賞（金一封）が贈呈された。なお、同日5時30分より地階大食堂において200余名参加の懇親会が盛大に行われた。



左から 田口会長、千畑一郎氏、大川輝氏、矢野卓雄氏、東江昭夫氏、駒形副会長

## 昭和59年度 第1回編集委員会議事録

- 1 日 時 昭和59年11月18日（日）12時～13時
- 2 場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）
- 3 出席者 田口久治、千畑一郎、駒形和男、永井史

郎、中村以正、岡田弘輔、岡見吉郎、大嶋泰治、清水祥一、左右田健次、外村健三、山田靖宙  
（編集幹事）ト部 格、今中忠行、大竹久

夫, 田中渥夫, 室岡義勝, 山根恒夫  
(トピックス幹事) 関 達治

#### 4 議事の経過および結果

##### 第1号議事 報告事項

山田靖宙編集担当理事は, 資料にもとづいて原稿受付状況, 月別受付原稿と掲載状況, 投稿数と掲載数の報告ならびにトピックス委員の交代(原島 俊氏を室岡義勝氏に)とトピックス幹事の交代(土戸哲明氏を関 達治氏に)があり, それぞれ委嘱したことを報告した。

##### 第2号議事 協議事項

投稿規約および投稿要領の改正について: 資料にもとづいて編集幹事会が作成した原案を検討した結果, 投稿規約については, 投稿原稿の採否に関する件および著作権の所有に関する件を原案通り承認した。投稿要領については, 国際単位系を主として使用する方針にのっとり, 量単位の項目を主に討議した結果, 2~3の訂正があったがほぼ原案通り承認した。また, 英文誌の投稿規定の改正については, Dimensions の項目を原案通り承認した。

### 昭和59年度 第3回理事会議事録

1 日 時 昭和59年11月19日(月) 12~13時

2 場 所 日本生命中之島研修所(大阪市北区中之島4-3-43)

3 出席者 田口久治, 千畑一郎, 古久保瑛一, 永井史郎, 岡田弘輔, 大嶋泰治, 嶋谷幸雄, 清水祥一, 高原義昌, 竹村成三, 外村健三, 戸田 清, 山田秀明, 山田靖宙, 矢野圭司

(監事) 栗山一秀

#### 4 議事の経過および結果

##### 第1号議事 報告事項

1) 庶務関係 外村健三庶務担当理事は, 資料にもとづいて事業, 会議開催状況および会員異動状況について中間報告をした。

2) 編集関係 山田靖宙編集担当理事は, 資料にもとづいて原稿受付状況, 月別受付原稿と掲載状況および投稿数と掲載数についての報告, ならびにトピックス委員の交代(原島 俊氏を室岡義勝氏に)およびトピックス幹事の交代(土戸哲明氏を関 達治氏に)があり, それぞれ委嘱したことを報告した。また, 昨日開催された編集委員会において投稿規約および投稿要領——主として国際単位系の使用に関する項目——が改正されたことを報告した。

3) 会計関係 岡田弘輔会計担当理事は, 資料にもとづいて本年4月1日から9月末日までの収入支出の状況は順調であると報告した。

4) その他 戸田 清(東日本支部長) および永井史郎(西日本支部長) は, 資料にもとづいて本年度上半期の事業について報告した。

##### 第2号議事 協議事項

1) 日本学術会議「研究連絡委員会」(生物化学, 化学工学, 発酵学・農産物利用学) の優先順位の決定ならびに推薦人および候補者の選出について

田口会長は, まず11月9日付日本学術会議より次のような照会があったことを報告した。すなわち当学会における「推薦人の指名及び会員の候補者の選定に係る関連研究連絡委員会」として指定を希望することができる研究連絡委員会の数は, 最大2名以上であること, および当学会における「推薦人の指名及び会員候補者の選定に係る関連研究連絡委員会」として指定を希望することができる研究連絡委員会名並びに当学会が「推薦人として指定して届け出ることができる人数」の予定される数の範囲は, 生物工学(第6部) 2人以内, 化学工学(第5部) 1人以内, 発酵学・農産物利用学(第6部) 2人以内である。

以上の照会に基づき協議した結果, 当学会が指定する研究連絡委員会および各連絡委員会における会員候補者の推薦人を次の通り決定した。

生物工学(第6部) 駒形 和男氏

化学工学(第5部) 田口 久治氏

また, 本学会は会員候補者として, 生物工学に対して福井三郎氏を推すことを決定した。

2) 次期評議会候補者推薦委員の決定について

昭和60年・61年度の評議員候補者推薦委員の選出について協議した結果, 会長, 副会長および常任理事の計11名を委員に選出することに決定した。

3) 東日本支部創立20周年記念誌の刊行および昭和60年度大会の開催について

東日本支部創立20周年を記念して、資料の通り11名の執筆者による記念誌「生物化学工学——最近の進歩——」を「日本醸酵工学会 編」として昭和60年8月に刊行することが承認された。また、記念事業の一環として、昭和60年度大会を東京大学教養学部において、昭和60年10月15日～17日に

開催することを承認した。

#### 4) その他

黒木事務局長から、賛助会員6社、団体会員3社、正会員63名および学生会員45名の入会申請の審議要請があり、検討した結果全員の入会を承認した。

## 昭和59年度 第2回評議員会議事録

- 1 日 時 昭和59年11月20日（火）12時～13時
- 2 場 所 日本生命中之島研修所（大阪市北区中之島4-3-43）
- 3 出席者 赤木盛郎氏他22名  
参与 市川邦介氏他3名  
役員 田口久治氏他6名
- 4 議事の経過および結果

黒木事務局長は、評議員会の定足数を確認した後、議長および議事録署名人について諮ったところ議長に能美良作氏を議事録署名人に村尾沢夫氏と栃倉辰六郎氏を全員一致で選出した。続いて議長および会長のあいさつがあり議事に入った。

### 第1号議事 報告事項

- 1) 庶務関係 外村健三庶務担当理事は、資料にもとづいて事業、会議開催状況および会員異動状況について報告した。また、昨日開催された理事会の決定事項として、日本学術会議「研究連絡委員会」に生物工学と化学工学の2つの研究連絡委員会を指定したこと、および推薦人に生物工学には駒形和男氏を、化学工学には田口久治氏をそれぞれ選出し、日本学術会議会員候補者として生物工学に対して福井三郎氏を推薦する運びになったと

とが報告された。

- 2) 編集関係 山田靖宙編集担当理事は、資料にもとづいて原稿受付状況、月別受付原稿と掲載状況および投稿数と掲載数についての報告ならびにトピックス委員の交代（原島 俊氏を室岡義勝氏に）およびトピックス幹事の交代（土戸哲明氏を関達治氏に）があり、それぞれ委嘱したことを報告した。また、一昨日開催された編集委員会において投稿規約および投稿要領——主として国際単位系の使用に関する項目——が改正されたことを報告した。

- 3) 会計関係 岡田弘輔会計担当理事は、資料にもとづいて本年4月1日から9月末日までの収入支出の状況は順調であると報告した。

### 第2号議事 協議事項

次期役員候補者推薦委員の決定について諮ったところ、議長の指名に一任されたので、議長は次の5氏を指名し、残り6名以上の選出については、5氏に一任するよう発言があり、一同これを承認した。

（推薦委員）能美良作、村尾沢夫、栃倉辰六郎、  
高橋穂二、辻阪好夫の5氏